

ビッグスロットルボディーキット 取扱説明書

製品番号 03-05-0160 (ビッグスロットルボディーキット)
03-02-0027 (マニホールドセット)

適応車種 CT125 (JA55-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご相談される事をお勧め致します。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎再使用する部品に関し、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

◎当製品はクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

◎当製品の他エンジンチューニングパーツと併用する場合は、FI コンTYPE-e が別途必要になります。

すでにFI コンTYPE-eをお持ちの場合は、弊社ホームページ上にあるビッグスロットルボディー対応のプリセットデータをダウンロードし、ご使用下さい。(右記QRコード読み込みにて、ダウンロードページを開く事が出来ます。)

お手持ちのアプリにMAPが無い方は、アプリをアップデートして下さい。

◎エンジン仕様により使用するフューエルインジェクタが異なります。取り付け要領に記載するフューエルインジェクタを必ず取り付けて下さい。

なお、当製品にはフューエルインジェクタは付属しておりません。ノーマルから変更する際は別途用意する必要があります。



注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

■エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、ケガ、火傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通風の良い場所で作業を行って下さい。(火災、爆発等につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

マニホールドセット : 03-02-0027



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ビッグスロットルボディ (φ 28)	1	
2	ラバーパッキン	1	00-03-0438
3	インテークマニホールド COMP.	1	
4	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0721 (5ヶ入り)
5	ソケットキャップスクリュー 6x30	2	00-00-0090 (5ヶ入り)
6	バンド (30-45/9)	1	00-00-0050
7	ハーネス COMP.	1	00-05-0375

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合が
あります。使用につきましては問題ございません。
予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●FI コントローラーについて

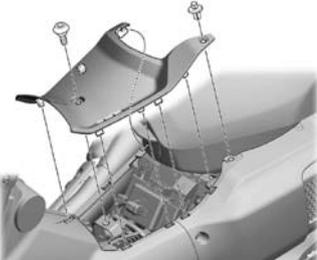
- ・車種専用のFI コンTYPE-e を必ず同時装着して下さい。
CT125 (JA55-1000001 ~) 用FI コンTYPE-e...05-04-0121 又は、05-04-0120

- FI コンTYPE-e や、各種エンジン部品と同時装着する場合、作業が重複する箇所もありますので各キットの取扱説明書の内容をよく確認した上で作業を行って下さい。

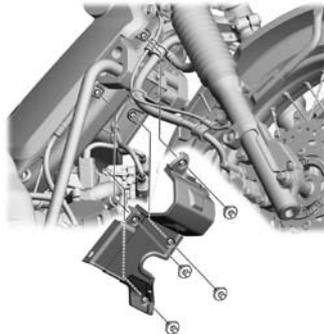
●外装部品及びエキゾーストマフラーの取り外し

- ・純正サービスマニュアルを参照し、以下を取り外す。エキゾーストマフラーがノーマルから変更されている場合は、その取説に従う事。

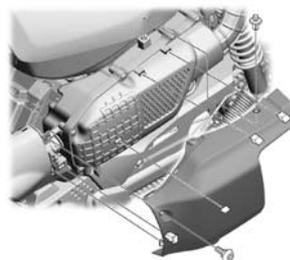
センタカバー



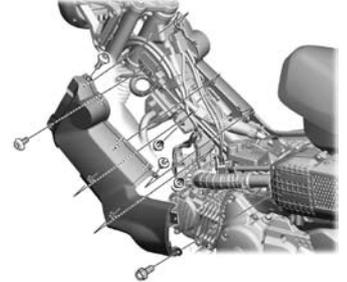
メインパイプリアカバー



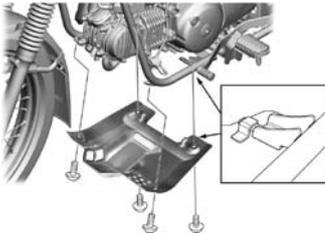
エアクリーナガーニッシュ



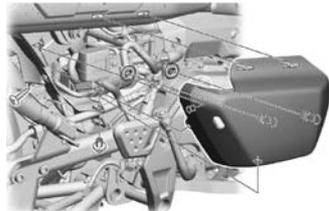
L. メインパイプカバー



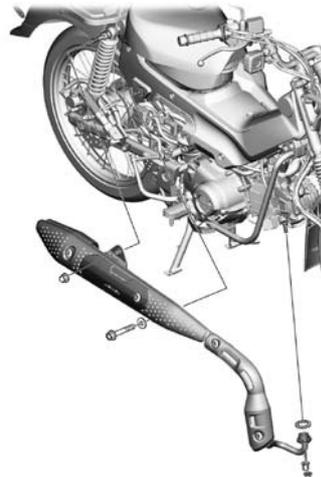
アンダガード



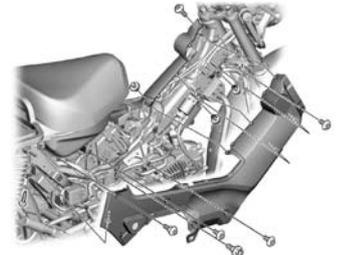
R. ボディカバー



エキゾーストマフラー



R. メインパイプカバー

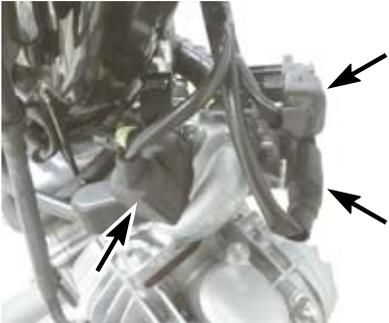


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

・安全の為、バッテリー端子をサービスマニュアルを参照し外す。

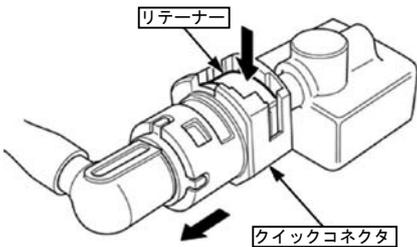
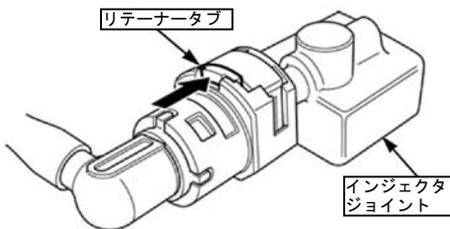
●ノーマルインレットパイプ / スロットルボディの取り外し

・センサーユニット 5P カブラ、インジェクタ 2P カブラ、IAC バルブ 4P カブラの接続を外す。



・以下に従いフューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。

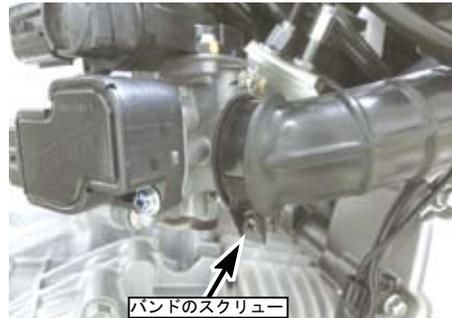
○クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
○リテナータブをジョイント方向に押しながらリテナーを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



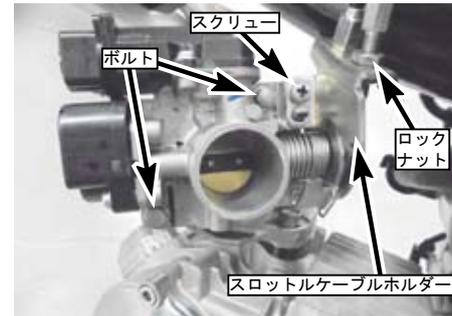
・ボルトを取り外し、スロットルカバーを取り外す。マニホールドにつながるホースの接続を外す。



・コネクティングチューブバンドのスクリューを緩め、コネクティングチューブをスロットルボディから抜き取る。



・ロックナットを緩め、スロットルケーブル引き側をスロットルケーブルホルダーから外す。
・スロットルケーブルホルダーのスクリューを取り外す。ノーマルスロットルボディのボルト2本を取り外す。



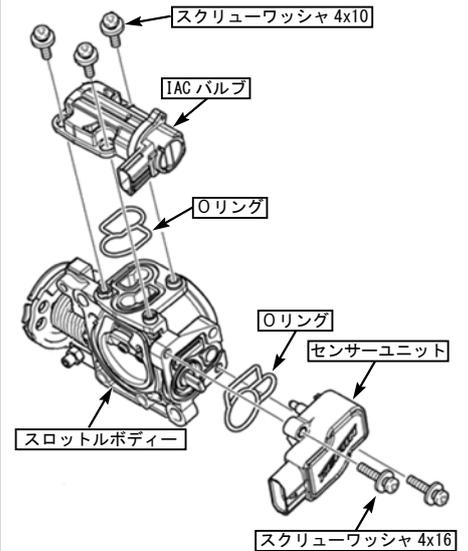
・スロットルプリーリーからインナーケーブルを2本共取り外す。



・インジェクタジョイントのボルト2本を緩めておく。ボルト2本を取り外し、インレットパイプとインシュレーターを取り外す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。



・各スクリューを取り外し、ノーマルスロットルボディからセンサーユニット / OリングとIACバルブ / Oリングを取り外す。



●ビッグスロットルボディへの取り付け

・前述の図を参考に各スクリューとOリングを再使用し、センサーユニットと、IACバルブを①ビッグスロットルボディに取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.1N・m (0.21kgf・m)

・ノーマルのインレットパイプからボルト2本、インジェクタジョイント、インジェクタ、シールリングを取り外し、③インテークマニホールドCOMP. に仮取り付けする。

※フューエルインジェクタはエンジンの仕様により異なる。P.6の表を参照し取り付けする事。



※シールリングはインテークマニホールドCOMP. からはみ出すことが無い様に真っ直ぐに差し込み、確実に取り付けする事。



○ シールリングがインテークマニホールドCOMP. にしっかりとハマっている



✕ シールリングがインテークマニホールドCOMP. からはみ出している

・③インテークマニホールドCOMP. とシリンダーヘッドの間にインシュレーターをセットし、⑤ソケットキャップスクリュー 6x30 2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。
また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。インジェクタジョイントのボルト2本を規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x30
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



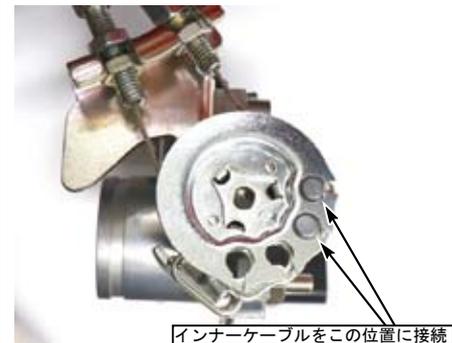
☆ SuperHead 4V+R へ当製品を取り付ける際は、ノーマルのインシュレーターのまま使用すると、インシュレーター径とシリンダーヘッドのポート径との差が大きいため、段差が生じます。専用のインシュレーターを使用して段差をなくす事でよりスムーズな出力特性を得られます。

弊社製の専用インシュレーターをご購入の上、取り付けて下さい。



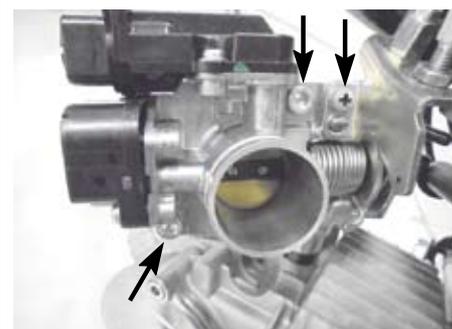
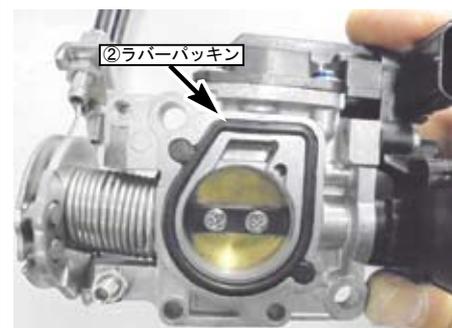
マニホールドアダプターセット
品番：00-00-0610

・インナーケーブルを①ビッグスロットルのスロットルプリーの指定の位置に接続する。スロットルケーブルホルダーをセットし、スクリューにて仮取り付けする。スロットルケーブル引き側をスロットルケーブルホルダーに仮取り付けする。



・②ラバーパッキンを取り付けた①ビッグスロットルボディを⑤ソケットキャップスクリュー 6x20 2本を使用して③インテークマニホールドCOMP. に取り付けする。スロットルケーブルホルダーのスクリューを本締めする。

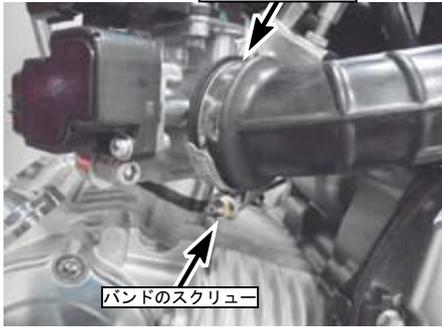
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x20
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
スクリュー
トルク：3.4N・m (0.34kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ・コネクティングチューブより、ノーマルのチューブバンドを取り外す。
 - ・コネクティングチューブに⑥バンド (30-45/9) を取り付け、ビッグスロットルポディーにはめ込む。バンドのスクリューを締め付ける。
- ※別売りのエアフィルターを取り付けの際には、その取扱説明書に従う事。

⑥バンド (30-45/9)



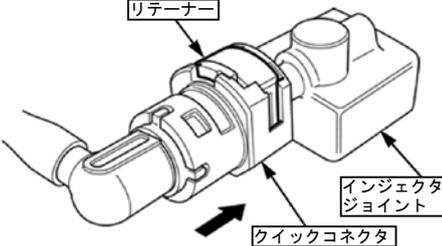
バンドのスクリュー

- ・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
- ※リテーナから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。

クイックコネクタ



リテーナー



クイックコネクタ

- ・ホースをマニホールドに接続する。



- ・スロットルカバーは使用しない為、スロットルプリーにフューエルホース等が接触しない様にセットする。



- ・センサーユニット 5P カプラ、IAC バルブ 4P カプラ、インジェクタ 2P カプラの配線を束ねているテープを外して、センサーユニット 5P カプラと IAC バルブ 4P カプラの配線をまとめ直し、インジェクタの配線と分ける。



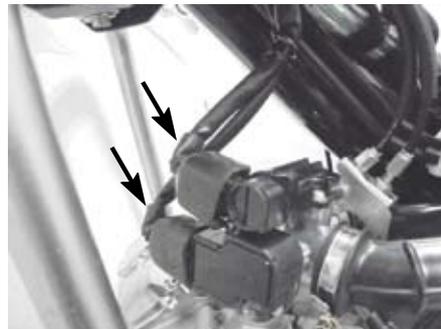
テープ

センサーユニット 5P カプラと IAC バルブ 4P カプラの配線

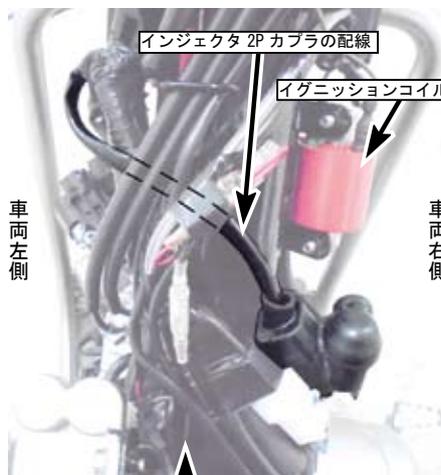


インジェクタ 2P カプラの配線

- ・センサーユニット 5P カプラと IAC バルブ 4P カプラの配線はノーマル同様に車両左側から取り回し、各カプラを接続する。



- ・インジェクタ 2P カプラの配線を車両右側に取り回す。



インジェクタ 2P カプラの配線

イグニッションコイル

車両左側

車両右側

フレーム

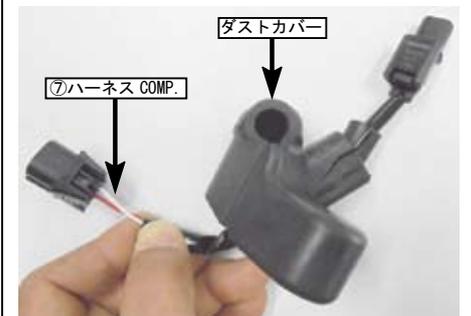
- ・ダストカバーをマニホールドに取り付ける場合は、インジェクタ 2P カプラを通すためにダストカバーに切れ込みを入れて取り外し、⑦ハーネス COMP. をダストカバーに通した後、各カプラを接続しダストカバーをマニホールドに取り付ける。

※ノーマルマニホールドと形状が異なるためピッタリと合わず、多少浮いた状態になる。



切れ込みを入れインジェクタ 2P カプラの配線からダストカバーを取り外す

ダストカバー



ダストカバー

⑦ハーネス COMP.



- ・ダストカバーをマニホールドに取り付けない場合はダストカバーが外装類と強く干渉しないような位置にセットし、各カプラを接続する。



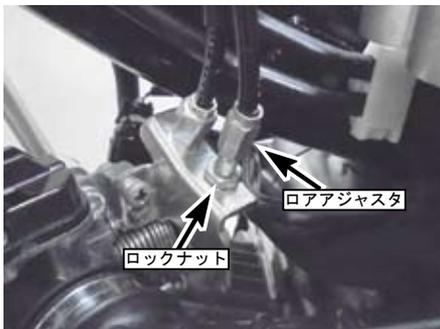
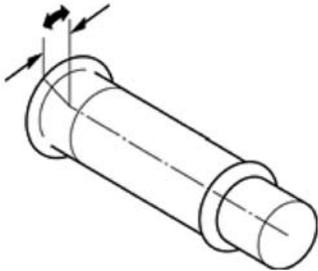
⑦ハーネス COMP.

- ・バッテリー端子をサービスマニュアルを参照し、取り付ける。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

・スロットルグリップの遊びが正規の範囲か確認を行い、範囲から外れている場合はロアアジャスタのロックナットを緩め、アジャスタを回して遊びの調整を行う。
調整後、ロックナットを締め付ける。
遊び範囲：スロットルグリップフランジ部で
2mm ~ 6mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：4.5N・m (0.45kgf・m)



・調整後、スロットルグリップの遊びや作動を再度点検する。
また、ステアリングを左右に操作しても遊びがある事を確認する。

エンジン仕様別使用フューエルインジェクタ

エンジン仕様			使用フューエルインジェクタ
エンジン	スロットル	エアフィルター	
ノーマル、ハイコンプ	ビッグスロットルボディーキット または マニホールドセット+ノーマルスロットルボディー	ノーマルエアクリナー または ラウンドエアフィルター	ノーマル
e ステージ ポアアップ		ノーマルエアクリナー または ラウンドエアフィルター	
S ステージ ポアアップ	マニホールドセット+ノーマルスロットルボディー	ノーマルエアクリナー	ノーマル
	ビッグスロットルボディーキット	ラウンドエアフィルター	
SuperHead 4V+R ポアアップ (STD ポート)	マニホールドセット+ノーマルスロットルボディー	ノーマルエアクリナー ラウンドエアフィルター	大容量フューエルインジェクタ G-1 (弊社品番 00-00-0487)
	ビッグスロットルボディーキット	ノーマルエアクリナー または ラウンドエアフィルター	

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDF データーでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。



スロットル開度センサーの初期化について

○スロットルボディの交換に伴い、スロットル開度センサーの初期化が必要ですが、エンジンコントロールユニットに故障診断コード (DTC) が保存されている場合はその初期化が行えません。まず、DTC が保存されているか確認し、保存されている場合は消去を行って下さい。又、既にFI コンを取り付けられている仕様の場合、一旦ノーマル ECU に戻す必要があります。

●DTC の保存の有無確認

- メインスイッチが OFF である事を確認する。
- バッテリーカバーにセットされているサービスチェックカブラからカブラカバーを外し、専用工具の SCS カブラを接続し、短絡させる。専用工具が用意出来ない場合は手持ちのリードコード等を用い、サービスチェックカブラ内 青コードの端子と緑 / 黒コードの端子をつなぎ、短絡させる。
- 専用工具 SCS カブラ
：ホンダ純正品番 070PZ-ZY30100



- メインスイッチを ON にし、メーター内の PGM-FI 警告灯の光り方を確認する。
- ・PGM-FI 警告灯が点灯したままの場合
⇒ DTC は保存されていないのでメインスイッチを OFF にし、「スロットル開度センサーの初期化」の作業に進む。
- ・PGM-FI 警告灯が 0.3 秒点灯し、消灯した後に点滅を開始した場合
⇒ DTC が保存されているので、引き続き後述「DTC の消去」の作業を行う。
メインスイッチは ON のままの事。

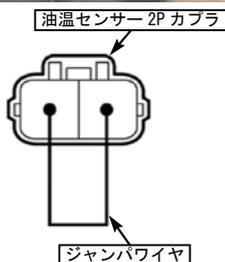


●DTC の消去

- 前述「DTC の保存の有無確認」の作業の後、サービスチェックカブラから SCS カブラの接続を外し、PGM-FI 警告灯が点灯してから (リセット受信パターン) 5 秒以内に SCS カブラをサービスチェックカブラに再度接続する。PGM-FI 警告灯が消灯した後、点滅を開始する (完了パターン) と、保存された DTC は消去される。
- ※必ず PGM-FI 警告灯の点灯中に SCS カブラを接続する事。
- ※手順が正しくない場合、PGM-FI 警告灯は消灯した後に点灯状態となる (失効パターン)。この場合はメインスイッチを OFF にして再度「DTC の保存の有無確認」から作業を行う。
- ※ PGM-FI 警告灯が点滅を開始する前にメインスイッチを OFF にした場合、DTC は消去されないので注意する事。
- メインスイッチを OFF にする。

●スロットル開度センサーの初期化

- (FI コン TYPE-e が装着されている場合はアプリ側で開度センサーの 0% と 100% を合わせる事が可能です。下記作業は必要ありません。)
- メインスイッチが OFF である事を確認する。サービスチェックカブラに SCS カブラが接続されている事を確認する。
- シリンダーの油温センサー 2P カブラの接続を外す。ワイヤーハーネス側の油温センサー 2P カブラ内の端子間をジャンパワイヤもしくは手持ちのリードコードにて接続する。



- メインスイッチを ON にすると PGM-FI 警告灯が点滅を開始する (リセット受信パターン) のので 10 秒以内に油温センサー 2P カブラに接続したジャンパワイヤもしくはリードコードを外す。
- PGM-FI 警告灯の点滅のパターンが変化する (リセット完了パターン) と、スロットル開度センサーのリセットが完了する。
- メインスイッチを OFF にする。
- ※ジャンパワイヤを接続したまま 10 秒以上経過した場合や手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となり、リセットは失敗となる。再度「スロットル開度センサーの初期化」の初めから作業を行う。
- 初期化を行った後、油温センサーにカブラを接続する。サービスチェックカブラから SCS カブラの接続を外してカブラカバーを取り付け、バッテリーカバーにサービスチェックカブラをセットする。

●アイドル回転数の確認・調整

- 出荷時にアジャストスクリューの調整は済んでいますが車両の仕様や個体差により、暖気運転後のアイドル回転数が基準値に収まらない場合があります。もし基準値に収まらない場合、スロットルプリー下部のロックナットを緩め、アジャストスクリューにて調整を行って下さい。
- ・回転が低い場合
⇒アジャストスクリューを締め込む。
調整後、ロックナットを締め付け。
- ・回転が高い場合
⇒アジャストスクリューを緩める。
調整後、ロックナットを締め付け。
基準アイドル回転数 : 1300rpm ~ 1500rpm

▲注意 : アイドリングの調整を行った場合は再度スロットル開度センサーのリセットを行う事。
▲警告 : 必ず換気の良い安全な場所で、十分注意してエンジンを始動させる事。



●外装類及びエキゾーストマフラーの取り付け

- 純正サービスマニュアルを参照し、各外装類及びエキゾーストマフラーを取り付ける。